

2022年1月31日

理学部在学生の皆さん

理学部長 林 政彦

### 2021年度後期定期試験の終了にあたって

新型コロナウイルスによる感染は、後期授業の開始の頃から一時的には沈静化したものの、2022年の年明けからオミクロン株による感染拡大が顕著になり、全国的に感染が拡大する中で現在に至っています。福岡県・九州地域も、深刻な感染状況がしばらく継続するものと思われます。

後期の授業は、9月末に遠隔・対面併用で開始、10月初頭から対面授業に変更し、継続しました。1月の対面形式の定期試験は、感染が急速に拡大する中、感染対策を徹底し大過なく実施することができました。これも、ひとえに、学生、教職員の皆さんが新型コロナウイルス感染症に対する対策に努めていただいたことによるものと感謝しています。

定期試験の終了に伴い、来年度の開始まで、長期の閉講期間となります。学生の皆さんは授業中心の大学が管理する生活ではなく、自分自身で管理する行動が中心の生活を送ることになります。一方、オミクロン株による感染は、全国的に急激な拡大の途上にあり、先行きは見通せません。この長期の閉講期間は、オミクロン株の感染拡大の状況のもとで、一人一人が自分自身の生活を管理しながら過ごすこととなります。

皆さんには、これまでも感染対策に注意を払った生活を送っていただいていると思いますが、自分自身、そして、身近な方たちの健康を守り、社会に安心を取り戻すために、これまで以上に感染対策に注意を払った日常を送っていただくようお願いいたします。

留意すべきことに変化はありませんが、改めて、次のことを確認してください。

#### コロナウイルスについての学習、情報収集を常に行い、感染対策を徹底する

何よりも、自分が感染しないようにすることです。コロナウイルスに関して、根拠のない情報に惑わされることなく正しい知識を持ち、その正しい知識に基づいて正しい感染予防対策を行ってください。**最新の**コロナウイルス感染症についての学習をし、ウイルス、感染拡大状況、ワクチン等に関する最新の情報を積極的に取得、自分自身の判断・行動に結び付けてください。

自分は大丈夫、コロナウイルスについてよく知っているという驕りや慢心、度量の狭さをなくし、謙虚に向き合しましょう。また他の事故と同様、感染する原因となる不勉強、手抜き、不注意も厳禁です。これらの心構えは理学部の人間として、科学的に自然に向き合う姿勢や態度にも通ずるものです。

なお、今年に入ってから福大生の感染例は、成人式関係をはじめとする昼食を含む会食等によると考えられるものが多かったことに留意いただきたいと思います。

私たち自身の安全を確保し、新年度を安心して迎えられるよう、皆さんの協力をお願いいたします。